



No.508

発行 一般社団法人名古屋工業会  
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番  
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

一般社団法人名古屋工業会会誌

こそ

2022 7-8 月号

[2022年度定期総会報告]

[ホットライン]

表彰者紹介

[交流コーナー]

先行開発こそが優位性を確保する

[新聞記事コーナー]

中日新聞

[情報ネットワーク]

支部報告・会員ニュース



# 2022年度定期総会・会員総会・特別講演会 報告

2022年5月28日 メルパルク名古屋於

2022年度定期総会は、新型コロナウイルス感染が収まりを見せ始めた5月28日にメルパルク名古屋で開催することになりました。

当初、名工大学内での開催も視野に入れ、会場を確保しておりましたが、新型コロナ対策により、学外者の使用許可の見通しが立たなかったことから、メルパルク名古屋での開催となりました。まだ懇親会の開催には至りませんでした。特別講演会まで開催することができました。

会議の前日、理事長が「濃厚接触者」と疑われることがあり、筆頭副理事長の河邊副理事長が定期総会の議長を代行し開催しました。理事長からは、リモートにより挨拶をいただきました。（後日、理事長は、陰性であることが確認されました。）

以下報告します。

## 定期総会

一般社団法人名古屋工業会の定期総会は、名古屋市東区のメルパルク名古屋2階の平安の間において、5月28日(土)14時から開催されました。会議には、約60名の会員が出席し、会場外にはYouTubeによるライブ配信が行われました。

内藤常務理事の司会で開会し、河邊副理事長を議長とし、加川理事長のリモートによる挨拶の後、成立状況の確認、議事録署名人の指名を行いました。

議事進行の都合上、第1号議案「2021年度事業報告及び収支決算案」、第5号議案「全学同窓会について」、第3号議案「一般社団法人名古屋工業会定款の改正について」、第2号議案「2022年度事業計画及び収支予算案」、第4号議案「役員を選任について」の順で審議されました。

第1号議案、第2号議案、第4号議案については、各議案とも、会場出席(委任状を含む)と書面による表決により、過半数に達しており、原案どおり議決されました。

また、第3号議案については、「総代議員の半数以上であって、総代議員の議決権の3分の2以上」の要件に対し、会場出席(委任状を含む)と書面による表決により、要件に達しており、原案どおり議決されました。

なお、第5号議案は、報告事項でした。

## 会員総会

初めに、出席した役員を紹介があり、続いて、常務理事を退任し引き続き理事をされる内藤克己氏(A43)、新たに副理事長に就任した長谷部勲氏(K56)、新たに常務理事に就任した仁科健氏(B50)から挨拶がありました。

次に、加川純一理事長のリモートによる挨拶の後、会長(学長)に代わって河邊伸二学長特別補佐の挨拶がありました。

叙勲受章者への記念品の贈呈、卒業満70,60,50,40周年を迎えられた方への顕彰の報告が行われました。最後に学歌「東海の邦のほまれに」を声高らかに歌い閉会しました。

## 特別講演会

会員総会終了後、特別講演会を開催しました。ダイハツ工業株式会社元代表取締役会長、中部産業連盟会長、伊奈功一氏(K46)に「トヨタとダイハツで学んだこと」と題して、ご講演をいただきました。伊奈氏には、新型コロナによる延期で、2年間にわたりお待ちいただき、ようやく開催することができました。

伊奈氏は、自らの体験に基づき、事例を交えたご高話をされ、聴講者一同、時間を忘れて聴き入りました。講演後に、多数の質問にも答えていただき、満場の拍手の中、終了しました。

## 2022年度 定期総会 次第

### 1. 議 事

(決議事項)

- 第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算案  
第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算案  
第3号議案 一般社団法人名古屋工業会定款の改正  
第4号議案 役員を選任について

(報告事項)

- 第5号議案 全学同窓会について  
第6号議案 その他

## 2022年度 会員総会 次第

1. 理事長挨拶 一般社団法人名古屋工業会理事長
2. 会長挨拶 国立大学法人名古屋工業大学学長
3. 報告事項 定期総会での決議事項の報告
4. 行 事

イ 叙勲受章者へ記念品贈呈 (敬称略)

神取秀樹 松井 寛 尾中 証 山根隆行

ロ 名古屋工業大学卒業満70、60、50、40周年の会員へ記念品贈呈 (敬称略)

(70年—昭和27年卒) —0名

(60年—昭和37年卒) —68名

C 平松清和 始7名	A 浅井充彦 始3名	M 的埜泰典 始18名
E 野田 昭 始10名	W 芝崎暢彦 始11名	D 磯部昭博 始8名
Y 渡辺 高 始4名	K 村田朋美 始7名	

(50年—昭和47年卒) —66名

C 大田一夫 始12名	A 橋本徹二 始2名	M 安藤真一郎 始13名	E 鈴木孝一 始8名
Es 塚本三郎 始3名	W 上野和義	D 新美 修 始3名	G 有岡雅行 始4名
Y 安田茂雄 始2名	K 坂尾 登 始4名	F 大鹿秀正 始8名	B 青山 透 始6名

(40年—昭和57年卒) —144名

C 井上 明 始19名	A 岡谷 隆 始10名	M 柘植繁喜 始28名	E 安藤幹人 始9名
Es 青柳昌宏 始9名	W 横山明宏 始8名	D 森崎 聡 始19名	G 竹村邦和 始11名
Y 安藤真司 始8名	K 小林健二 始5名	F 足達剛志 始7名	B 本多貴治 始5名
J 横山清子 始6名			

ハ 特別講演

講師：伊奈 功一 氏 (K46) ダイハツ工業株式会社 アドバイザー (元 代表取締役会長)

演題：『トヨタとダイハツで学んだこと』

## 理事長挨拶

一般社団法人名古屋工業会  
理事長 加川 純一 (K49)

2022年度の名古屋工業会会員総会開催にあたり御挨拶をさせていただきます。

メルパルク名古屋にお集まりいただいた皆様、そしてリモートで参加いただいている皆様、お忙しい中、誠にありがとうございます。一昨年、昨年と新型コロナウイルス禍で通常の総会の開催ができませんでした。今年もまだ完全には収まってはおらず、総会の開催を決定する時期には大学施設の借用が難しい状況でしたので、ここメルパルク名古屋にて開催させていただきました。東海地区の皆様だけではなく、中には遠方からも対面で参加していただいている方がおられますが、多くの方がリモートで参加され、書面審査をお願いすることになりました。

コロナ禍により各支部とも総会をはじめとした種々の活動に制限が付き、不便な状態が続いています。従来のような活動が行える日々が一日でも早く来ることを望んでいます。

さて、まずは先程定期総会にて予定された議題を審議いただき、すべて終了しましたことをご報告します。名古屋工業会の活動の一つの柱である『大学支援事業』はコロナ禍でも従来通り進めてまいりました。従来は大学支援金の多くが学生の短期留学支援に活用されてきましたが、ここ2年間は学生へのコロナ支援に活用されました。

また、例年行っています奨学金制度は従来どおり実施しましたし、コロナ禍で制約がある中、一所懸命活動されておられる課外活動も支援させていただきました。

今回の定期総会では大幅に会員が増加している三河支部長にも副理事長として本部役員に加わっていただくよう、定款を改訂させていただ



きました。また、現在の卒業生の多くは入学時に終身会員になっていただいております。急激に会員数の増加が進んでいます。名古屋工業会としても「全学同窓会」へと脱皮するため、今後も組織や活動の見直しを行っていきたく思います。

財政面、特に収入は、新入生の終身会員会費に依存しております。いろいろな不安定要素がありますので、昨年度実施した支部交付金の見直しは継続していくつもりです。支出面では、本部、支部を問わずコロナ禍による活動の制約があり、結果として多少余裕のある数字となり、終身会員の活動費のための積立金を計上できました。

2021年度の活動詳細については後ほど説明させていただきますとともに、2022年度も2021年度同様の活動を行っていく予定です。

兎にも角にも一刻も早くコロナ禍が去り、更にはウクライナ戦争も早く終結し、以前の生活に戻ってほしいものです。

本日は特別講演会で、新型コロナ禍により延期し、2年越しでの開催となった元ダイハツ工業株式会社会長の伊奈功一様に『トヨタとダイハツで学んだこと』という演題で講演いただきます。リモートで参加されている皆様もお聴きいただきたくお願いします。

これからも名古屋工業会、そして母校名古屋工業大学へのご支援をお願いして私からのご挨拶とさせていただきます。

## 学長特別補佐挨拶

国立大学法人名古屋工業大学学長特別補佐  
一般社団法人名古屋工業会副理事長  
河邊 伸二 (A59)

皆様、こんにちは。名古屋工業大学長木下隆利先生に代わりまして、学長特別補佐、卒業生連携室長兼基金室長の河邊伸二がご挨拶いたします。本日の総会の開催、おめでとうございます。まだまだコロナ禍が続いております中、関係者の皆様の準備等のご尽力に敬意を表します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に伴う学生援助に対するご支援へのお礼とご報告を申し上げます。

2021年4月から2022年3月において皆様からお預かりした寄付金は、個人、団体合わせて588件、8千万円を越えました。「名古屋工業大学学生生活支援金」として学生5135名に一人当たり5千円、授業料免除支援として18名に一人当たり13万円を支給しました。また課外活動支援などに還元させていただきました。

基金室長として、ご協力・ご尽力くださった方々にこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。さらに、卒業生連携室長として、卒業生の皆様の常日頃の多大なる大学支援に心より感謝いたします。

大学の近況として、この春、6年一貫の「創造工学教育課程」の第1期修了生が誕生しました。さらに、第二部を発展させ、「基幹工学教育課程」がスタートしました。再編により工学部は、「高度工学教育課程」「創造工学教育課程」「基幹工学教育課程」の3本柱になります。

なお、今年度は、ハイブリッド形式の授業形態で、一部、対面授業で実施しています。コロナ禍の中、常に、学生にとって最善の形態となるように対応しています。

また、若手研究者を積極的に雇用する一方、女性限定のスタートアップ助教制度を2020年4月から開設しました。本学に勤めて給料をもら



いながら社会人ドクターとして学位を取得し、将来、本学教員として活躍していただく女性限定の制度です。

さて、名古屋工業大学は、新企画として「アートフルキャンパス構想」を提案しました。4月1日に、愛知県立芸術大学と協定して、美術品の展示や両校の学生が協働して描く壁画の製作を進めています。コロナで傷んだ学生・教職員の心の癒しに繋げると同時に、「心で工学」を実践するプラットフォームの整備と位置付けています。ご賛同くださる皆様には、「アートフルキャンパス整備基金 ご寄付のお願い」を検索し、寄付をご支援下さりますよう、お願い申し上げます。ここで、「アートフルキャンパス構想」の作品を、スライドを用いて、紹介いたします。

今後とも名古屋工業大学を応援してください。さらに一層の、ご寄付へのご理解とご協力をお願い申し上げます。教育研究環境の整備充実のための一般基金と、若手研究者や課外活動を支援する特定基金があります。「名工大基金」で検索していただきますと、ご寄付できますので、切にお願い申し上げます。なお、昨年、名古屋工業会大阪支部の会員の方から200万円の多額のご寄付を賜りました。

名古屋工業大学は、技術が人間を追い越したとされる時代にこうして、工学を「心ですべき学問」と位置づけ、「心で工学」を合言葉に、ものづくり・ひとづくり・未来づくりに励んでまいります。以上、簡単ですが、ご挨拶と大学の近況といたします。

2022年度 役員名簿

<b>理事(10)</b>	加川純一	K49	浅井慶一郎	C56	<b>代議員(88)</b>	北海道(1)	佐川正人	C53		
	刑部道博	D54	岡崎格郎	A46		東北(1)	鈴木 聡	C57		
	○長谷部 勲	K56	仁科 健	B50		東京(7)	入矢桂史郎	C52	浅井英利	E58
	内藤克己	A43	河邊伸二	A59			三浦太朗	EC⑬	大久保智明	D57
	森川民雄	W45	大鹿秀正	F47		戸澤宏一	M55	飯沼義昭	B46	
						北村明弘	K53			
<b>監事(2)</b>	森 秀樹	D52	川村信之	E53	甲信越(2)	若林俊樹	M56	樋口 順	C48	
<b>相談役(6)</b>	藤原俊朗	K31	牛込 進	Y33	静岡(2)	玉木利幸	C52	向坂直久	Es60	
	篠田陽史	M33	二杵幸夫	K39	三河(12)	長谷部 勲	K56	吉木 満	W56	
	木越正司	C44	水嶋敏夫	M42		沼澤成男	M59	岩田忠三	M59	
<b>参与(4)</b>	張田吉昭	M43	北村 正	Es48		佐藤文昭	ZK⑤	出崎 亨	K61	
	清水益文	F44	水谷尚美	D42		澤田昌克	D61	服部和弘	E62	
<b>顧問(7)</b>	日比貞雄	W35	阿部完二	D41	<b>名古屋(25)</b>	大野一成	ZK⑤	橋本直樹	II D⑤	
	○宇佐美貞夫	F40	○北村健治	B40		伊藤雅幸	D⑨	佐々俊祐	Ma⑩	
	○加藤作次	C40	○河辺 彰	K40		兼岩 孝	C54	和田亮一	C62	
	○伊藤要蔵	B42				藤田素弘	C60	山口 啓	C49	
				井澤知且		A51	杉戸厚吉	A53		
				武内博明		Mb①	富田庸公	Mb①		
				三宅正人		E60	岸 直希	EM⑫		
				後藤富朗		EC⑨	森川民雄	W45		
				伊藤哲夫		W45	犬塚正憲	D48		
				中野達夫		G50	村瀬由明	D53		
				橋本 忍		ZY②	野々山尚志	Y63		
				小坂井孝生		K49	小山敏幸	K61		
				守田賢一		F47	大鑄史男	F49		
				西村良博		F48	横山淳一	FB⑥		
				犬塚信博		J62				
				尾 張(7)		伊藤美保	D44	服部重夫	Y43	
						小久江智之	M53	山口初一	E56	
						大竹昌志	C54	小木曾春美	M55	
						魚住弘一	D53			
				<b>岐阜(7)</b>		各務剛児	C53	田中清之	A54	
						堤 喜治	M45	沢野 勝	E43	
						山田孝夫	W48	笹島 康	Y39	
						兼松克司	K42			
				<b>北陸(2)</b>		黒田 茂	M47	吉岡正盛	B58	
				<b>三重(4)</b>		黒木清篤	D52	浅野俊介	Y60	
					新堂紳一郎	C58	満仲朗夫	C59		
				<b>大阪(5)</b>	川越英二	E47	伊藤俊明	M45		
					西川嘉一	G50	西岡 裕	B50		
					堀口大輔	C59				
				<b>兵庫(2)</b>	佐久嶋 拓	EI⑫	當舎良章	SC③		
				<b>岡山(2)</b>	虫明正博	K59	小倉俊彦	A58		
				<b>広島(1)</b>	菱川躬行	E34				
				<b>山口(1)</b>	川上為夫	W42				
				<b>山陰(1)</b>	湊口民弥	A52				
				<b>香川(1)</b>	前川浩一	SC⑩				
				<b>徳島(1)</b>	福井一博	A46				
				<b>愛媛(1)</b>	小松浩樹	CM⑳				
				<b>高知(1)</b>	山内 健	C53				
				<b>九州(2)</b>	平野富広	F58	吉村 尚	A50		

○:新任候補者

■退任役員 (参与)宇佐美貞夫 F40  
(参与)加藤作次 C40  
(参与)伊藤要蔵 B42

(参与)北村健治 B40  
(参与)河辺 彰 K40  
(参与)安藤正晴 B43

## 2021年度（令和3年度）事業報告

2021年度定期総会は、新型コロナウイルス感染状況の先行きが不透明であったものの、当初は、懇親会を除き、対面で全面的な会議を行う方向で準備を進めた。しかし、最終的に役員と一部の代議員が会場で出席することとなり、その他の代議員はリモートによる参加となった。

支部総会については、リモート、ハイブリッド、メール等による会議を開催する支部もあったが、多くの支部で中止を余儀なくされた。2021年度も活動をほとんど行えなかった支部が多い。

本部行事については、「年度の前半から後半にむけ、大学の方針を踏まえ、対面での事業活動を段階的に増加させていく（2021年度事業計画から）」との方針で臨み、感染状況が収まりを見せた11月に、支部長会議を対面で、OB・OG トップセミナーをリモート中心に開催した。また、挑戦的課外活動団体、工大祭、留学生後援会、鶴桜会の支援を実施した。

従来からの重要課題であった社団法人から一般社団法人への移行措置（公益目的支出計画）について完了した。

名古屋工業会館解体後の跡地に整備した有料駐車場は、感染者数の減少とともに利用が拡大し順調に運営された。

全学同窓会にむけては、全体的な課題整理を行うとともに、他の国立大学の同窓会を調査し、その知見をもとに会員定義の在り方について検討した。また、組織体制については、一般社団法人への移行後、8年を経て、役員数、役員の役割などを見直すとともに、役員候補者選考の在り方について検討した。他大学同窓会の調査では、事業活動の推進などについても課題が改めて明らかになった。

支部活動費については、支部交付金の減額と行事支援金の非会員への支援をセットで見直した。

他方で、わずかであるが、終身会員の将来に向けた活動を確保するための積立金として、「指定定期預金及び債権（終身会費）」を始めて計上し、積み立てた。

## 1. 大学支援事業

## (1) 国際化推進事業支援（国際的に通用する人材の育成・大学の国際化支援）

## ① 学生の海外研修・留学支援

海外研修・留学について募集を行い、採択したが、度重なる感染拡大のため渡航期間を繰り延べた。渡航可能なフェーズになれば出国できるよう、あらかじめ受け入れ予定機関の教員による遠隔指導などを受けた。

## (2) 教育研究支援（大学の教育研究活動に対する支援）

① 2020年度に開催できなかったOB・OG トップセミナーについて、学部の授業にも位置付け、リモート方式を中心として開催し、800人を超える学生が受講した。

② 公開講座について、名古屋支部が協賛し、医薬工連携 ― 先端医療を生み出す工学研究オンデマンド型オンライン講座が開催された。

③ 教員に対する研究助成等教育研究活動の環境整備に対し支援した。

④ 定年退職教職員 7名への感謝状と記念品を贈呈した。

## (3) 学生支援（学生の人材育成に対する支援）

## ① 学生の海外研修・留学支援（再掲）

## ② 名古屋工業会賞

学長から推薦のあった成績優秀な学生 19名に名古屋工業会賞として表彰状と記念品を贈呈した。

## ③ 経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金の授与

経済的に支援を必要とする学生（7名）に名古屋工業会給付型奨学金を継続して支給し

た（7名）。

④ 留学生後援会への援助

留学生後援会が実施する留学生貸付等業務のため、留学生後援会を支援した。

⑤ 挑戦的課外活動団体の支援

全国レベルの成果のみではなく、地方レベルの成果を上げる部活や新型コロナ禍でとくに厳しい活動を迫られている部活にも広く支援を行った。（12部活）

⑥ 「工大祭」の支援

工大祭は、新型コロナウイルスの影響で、2020年度はオンラインによる開催となったが、2021年度は、参加は学内者に限られたが、対面の開催となった。工大祭実行委員会に支援金を授与した。

⑦ 在学生及び保護者に対する大学の各種情報提供の支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は代表者のみ、学位記授与式は学内関係者のみによる式典となり、在学生や保護者全体に直接話す機会を失った。このため、ごきそ500号及び名古屋工業会トピックス夏号を学生会員に配布し、会員、保護者への情報提供を行った。

（4）その他の支援

① 大学の基金室の要請を受け、本会ホームページ、会誌「ごきそ」上で、大学への寄附を呼びかけた。

② 名古屋工業大学女性卒業生で組織する鶴桜会（OG会）を支援した。

2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

（1）会員増強活動

① 会員拡大に向けた支援

会員拡大に向けた取り組みとして、支部行事への非会員の参加についても、支部支援の対象とした。

② 卒業生への活動

2021年度学位記授与式については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内関係者のみで開催され、来賓挨拶ができなかった。このため、学内掲示板を通じて理事長のメッセージを卒業生に伝えた。

③ 在学生への活動

2022年度入学式も学位記授与式同様、来賓挨拶ができなかった。このため、学内掲示板を通じて理事長メッセージを新入生に伝えた。

ごきそ500号及び名古屋工業会トピックス夏号を学生会員に配布し、会員、保護者へ名古屋工業会の活動を伝えた。（再掲）

④ 在学生への活動

OB・OGトップセミナーを通じ、2年生のほぼ全ての学生について、名古屋工業会を紹介した。

⑤ 挑戦的課外活動支援を通じた広報

挑戦的課外活動支援金について、公募方式を続け、支援団体を10団体から12団体に拡大し、名古屋工業会の認知度のアップを図った。

⑥ 卒業後の会員の住所等の把握

直近の卒業生について、会員証の受領書情報から通じて住所把握に努めた。

⑦ 会員の状況

新規入会者

終身会員 27(41)名、 年度会員 4(5)名、 合計 31 (46)名

新入学生会員

## 2021 年末の会員状況

対象者 69,575 (68,606)名、会員 17,489 (16,756)名 OB 会員入会率 ; 25.1 (24.4) %  
会員の内訳 終身会員 14,972 (14,207)名、年度会員 2,517 (2,549)名

### (2) 活性化活動

#### ① 会員交流および広報活動

- 1) 会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体として、会誌「ごきそ」を隔月に発行した。ごきそに新型コロナ禍での名工大キャンパスの様子を伝える記事を掲載した。
- 2) 新たな試みとして、4 半期に 1 度、名古屋工業会トピックスを発行し、大学の様子とな古屋工業会の活動状況を伝えた。
- 3) 情報提供の場としてのホームページの充実のため、リニューアルに着手した。
- 4) 単科会からの依頼にもとづき、単科会の記事をホームページに掲載した。
- 5) 会員情報・優待制度の充実に努めた。
- 6) 卒業生連携室の協力を得て会員名簿を整備した。

#### ② 支部活動

- 1) 昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため、開催できなかった支部長会議を対面で開催した。14 支部の支部長が参加し、各支部の課題などの活動交流が行われた。

#### ③ 特別講演会

2021 年度特別講演会の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、2020 年度に続き中止し、2022 年度定期総会での講演を依頼した。

講師：ダイハツ(株)元会長伊奈功一、中部産業連盟会長

#### ④ 鶴桜会

名古屋工業大学女性卒業生で組織する鶴桜会 (OG 会) を支援した。(再掲)

#### ⑤ 記念品の贈呈

- 1) 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈を郵送した。

紫綬褒章 徳田 恵一 (Es59)

瑞宝中綬章 垣田 宏治

瑞宝中綬章 結城 康夫

瑞宝中綬章 小林 明發 (K40)

瑞宝中綬章 杉本 克久 (K39)

瑞宝中綬章 高山 和喜 (M38)

瑞宝中綬章 山口 明良 (Y39)

瑞宝中綬章 平岡 節郎 (D38)

- 2) 卒業満 70、60、50、40 周年に該当する会員に記念品贈呈

70 年 18 名、60 年 77 名、50 年 56 名、40 年 120 名

### 3. 名古屋工業会の将来に向けた基盤整備

#### (1) 「全学同窓会」への移行について

- ① 全卒業生で構成する「全学同窓会」をめざし、組織検討委員会を開催し、会員定義の見直しについて検討し、成案を得た。
- ② 「全学同窓会」にむけて、役員体制の拡充について検討した。

#### (2) 中長期財政計画の策定

##### ① 財政の検討、実施

- 1) 2020 年度に決定した支部交付金、行事支援金の改定について、改めて支部長会議で説

明し、実施に移した。

- 2) 終身会員の将来に向けた活動を確保するための積立金として、「指定定期預金及び債権（終身会費）」を積み立てた。
- 3) 公益目的支出計画について、2020年度を持って終了し、2021年度中に所管官庁に完了報告し、確認された。（完了した。）
- 4) 公益目的支出完了を踏まえて、会計士の指導の下、事業実績に即した収支決算を作成した。
- 5) 本会の給付型奨学金については、新たな国の給付型奨学金制度、授業料免除制度などが始まり複雑化したことから、適切な候補者選考が難しくなった。そのため実施については、大学を経由することとした。この結果、大学への支援額（寄附金額）も増額した。（再掲）

② 本部事務組織の在り方について

- 1) 事務職員のモラルを高めるため、業績評価を実施した。

(3) 名古屋工業会館の跡地活用の検討

- ① 名古屋工業会館の跡地については、当面有料駐車場として活用することとし、順調に運用した。

(4) 大学連携活動

- ① 「大学基金」への募金について、広報誌で宣伝した。
- ② 大学卒業生連携室と連携会議を開催し、大学への寄付などについて協議した。
- ③ 各種会議に、大学代表として学長特別補佐の派遣を得た。

4. その他の事業

(1) WEB ミーティング（テレビ会議）の実施

新型コロナウイルス感染拡大も2年目となり、「with コロナ」として、運営委員会・理事会等でのWEB ミーティング（テレビ会議）の活用が定着した。

以 上

令和4年5月28日

会員各位

一般社団法人 名古屋工業会  
理事長 加川 純一

**令和4年度定期総会及び決議ご通知**

令和4年5月28日(土)開催の一般社団法人名古屋工業会定期総会において、議案全てが議決されましたのでご通知申し上げます。

# 2021年度収支決算書

(2021年4月1日から2022年3月31日)

## 1. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	決算額(A)	予算額(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業収入等</b>	<b>6,254,162</b>	<b>5,880,000</b>	<b>374,162</b>
(1) 財産利子収入	1,931,362	1,900,000	31,362
(2) 会誌広告収入	508,000	380,000	128,000
(4) 駐車場賃貸収入	3,814,800	3,600,000	214,800
(5) 寄附金収入	0	0	0
<b>2) 入会金, 会費収入</b>	<b>74,350,000</b>	<b>72,960,000</b>	<b>1,390,000</b>
(1) 入会金収入	34,000	40,000	△ 6,000
(2) 年度会費収入	2,446,000	2,800,000	△ 354,000
(3) 終身会費収入	71,750,000	70,000,000	1,750,000
(4) 賛助会費収入	120,000	120,000	0
<b>3) 雑収入</b>	<b>35,441</b>	<b>100,000</b>	<b>△ 64,559</b>
(1) 雑収入	35,441	100,000	△ 64,559
<b>4) 積立預金取崩収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1) 減価償却積立預金取崩収入	0	0	0
<b>5) 前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1) 前期繰越収支差額	0	0	0
<b>収入の部合計</b>	<b>80,639,603</b>	<b>78,940,000</b>	<b>1,699,603</b>

※注1

※注2

注1 名古屋工業会館跡地の駐車場の収入

注2 終身会員への入会者が微増

## 2. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	決算額(A)	予算額(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業費</b>	<b>47,815,234</b>	<b>52,998,000</b>	<b>△ 5,182,766</b>
(1) 大学支援事業	27,889,515	28,354,000	△ 464,485
ア 教育研究支援	2,248,373	2,100,000	148,373
イ 学生支援	25,641,142	25,844,000	△ 202,858
ウ その他支援	0	410,000	△ 410,000
(2) 工業会の充実のための事業	19,636,501	24,644,000	△ 5,007,499
ア 会員増強活動	6,379,357	6,844,000	△ 464,643
イ 広報活動	6,722,917	7,698,000	△ 975,083
ウ 支部活動	5,631,669	9,112,000	△ 3,480,331 ※注1
エ 会員慶弔	902,558	912,000	△ 9,442
オ 講演会	0	78,000	△ 78,000
(3) 収益事業	289,218	0	289,218
ア 駐車場等賃貸	289,218	0	289,218
<b>2) 管理費</b>	<b>19,462,745</b>	<b>25,324,000</b>	<b>△ 5,861,255</b>
(1) 総会経費	459,000	860,000	△ 401,000 ※注2
(2) 管理諸経費	17,003,745	21,464,000	△ 4,460,255 ※注3
(3) 指定定期預金及債権(終身会費)	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000 ※注4
<b>3) 積立預金繰入支出</b>	<b>13,361,624</b>	<b>0</b>	<b>13,361,624</b>
(1) 特別修繕引当預金繰入支出	13,361,624	0	13,361,624 ※注5
<b>4) 次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>618,000</b>	<b>△ 618,000</b>
(1) 次期繰越収支差額	0	618,000	△ 618,000
<b>支出の部合計</b>	<b>80,639,603</b>	<b>78,940,000</b>	<b>1,699,603</b>

注1 新型コロナウイルス感染拡大の影響による支部總會等の中止、支部交付金の減額

注2 2021年度定期總會のリモート方式開催による減額

注3 新型コロナウイルス感染拡大のため、交通費などの支出の減額

注4 終身会員の将来に向けた活動確保のための積立

注5 名古屋工業会館解体の残工事（杭抜き）、校友会館室内の修繕、倉庫設置等の引当金

## 正味財産増減計算の部

2022年3月31日

### (1) 増加の部

(単位：円)

	勘定科目	決算額	備考
資産の増加	当期繰越収支差額	0	
	減価償却積立金増加額	248,250	
	退職給与引当預金増加額	300,000	
	特別修繕引当預金増加額	13,361,624	
	終身会費引当預金増加額	2,000,000	
増加額合計		15,909,874	

### (2) 減少の部

	勘定科目	決算額	備考
資産の減少	前期繰越収支差額	0	
	構築物償却費	218,218	
	什器備品償却費	30,032	
負債の増加	退職給与引当金増加額	300,000	
	特別修繕引当金増加額	13,361,624	
	終身会費引当金増加額	2,000,000	
減少額合計		15,909,874	
当期正味財産増減額		0	
前期繰越正味財産額		242,624,549	
期末正味財産合計額		242,624,549	



# 貸借対照表

2022年3月31日

## 1. 資産の部

(単位；円)

勘定科目		金額	
大科目	小科目		
流動資産	現金預金	81,202,636	
流動資産合計(A)			81,202,636
固定資産 特定財産	調査研究助成積立預金	10,565,784	
	減価償却積立預金	4,109,037	
	退職給与引当預金	3,355,191	
	特別修繕引当預金	13,361,624	
	終身会費引当預金	2,000,000	
特定財産合計(B)			33,391,636
その他固定資産	土地	33,524,344	
	構築物	2,312,346	
	什器備品	116,046	
	投資有価証券	110,749,796	
	差入保証金	100,000	
その他の固定資産合計(C)			146,802,532
固定資産合計(D) = (B) + (C)			180,194,168
資産合計(E) = (A) + (D)			261,396,804

## 2. 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	小科目		
流動負債		0	0
固定負債	受入保証金	55,440	
	退職給与引当金	3,355,191	
	特別修繕引当金	13,361,624	
	終身会費引当金	2,000,000	
固定負債合計(G)			18,772,255
負債合計(H)			18,772,255

## 3. 正味財産の部

当期正味財産減少額		0
正味財産(I)		242,624,549
負債及び正味財産合計(J) = (H) + (I)		261,396,804

# 財 産 目 録

2022年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
(資産の部)		
I. 流 動 資 産		
1. 現金	1,453,273	
2. 普通預金(三菱UFJ銀行)	66,173,621	
3. 当座預金(ゆうちょ銀行)	12,575,742	
4. 定期預金(三菱UFJ銀行)	1,000,000	
流動資産合計	81,202,636	81,202,636
II. 固 定 資 産		
1. 特定資産		
(1) 愛知県公債 (野村証券)	13,151,423	
(2) 国 債 (野村証券)	20,240,213	
特定資産合計	33,391,636	33,391,636
2. その他の固定資産		
(1) 土地 狭間町4番3 515.35 m <sup>2</sup>	33,524,344	
(2) 構築物	2,312,346	
(3) 什器備品	116,046	
(4) 国 債 (野村証券)	79,759,787	
(5) 大阪府公債 (野村証券)	20,000,000	
(6) 愛知県公債 (野村証券)	10,848,577	
(7) 金銭信託(みずほ信託銀行)	141,432	
(8) 差入保証金 (セコム・八重洲倶楽部)	100,000	
その他の固定資産合計	146,802,532	146,802,532
固定資産合計	180,194,168	180,194,168
資 産 合 計	261,396,804	261,396,804
(負債の部)		
I. 流 動 負 債		
流動負債	0	
流動負債合計	0	0
II. 固 定 負 債		
受入保証金	55,440	
退職給与引当金	3,355,191	
特別修繕引当金	13,361,624	
終身会費引当金	2,000,000	
固定負債合計	18,772,255	18,772,255
負債合計	18,772,255	18,772,255
正味財産		242,624,549

# 監査報告書

一般社団法人 名古屋工業会

理事長 加川 純一 殿

2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況等について報告を受け、必要に応じて説明を求め、貴重な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき当該事業年度に係る事業報告書について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）について検討致しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2022年4月22日

一般社団法人 名古屋工業会

監事 森 祐 樹 

監事 川 村 信 之 

## 2022年度（令和4年度）事業計画

はじめに

2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大3年目となり、度重なる感染の波、新たな変異株の流行、この間の活動経験を踏まえ、「with コロナ」の時代に対応した同窓会活動を行う。

「全学同窓会」として、全卒業生を包含する同窓会をめざし、活動を進める。また、昨年度に検討した役員体制の充実について、実施に移す。

具体的には、全学同窓会として「登録会員」（定款改正前は「非会員」）が参加可能な行事を検討する。また、単科会など「会友」団体との連携により活動の範囲を広げ、「登録会員」との交流の機会を増やす。

支部活動の充実のため、支部長会議を開催するとともに、支部支援の具体化を進める。支部行事への「登録会員」への参加について、行事支援金の支出を行う。

公益目的支出計画完了を踏まえ、終身会員の将来に向けた活動を確保するための積立を行う。新たな財政について継続的に検討する。

登録会員を包含するデータベースの在り方について、検討する。

### 1. 大学支援事業

#### (1) 国際化推進事業支援（国際的に通用する人材の育成・大学の国際化支援）

新型コロナウイルス感染の状況に応じて実施される大学の国際化推進事業を支援する。

#### (2) 教育研究支援（大学の教育研究活動に対する支援）

大学が実施する公開講座について、講師を派遣するほか、教員に対する研究助成等教育研究活動に関し支援する。また、定年退職教職員への感謝状と記念品の贈呈を行う。

#### (3) 学生支援（学生の人材育成に対する支援）

本会の伝統として実施してきた優秀な学生への名古屋工業会賞の授与、経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金の授与、学生の海外研修・留学支援（国際化推進事業支援と同一事業）を実施する。

また、課外活動として、挑戦的な課外活動の支援、工大祭の支援、就職活動の支援を行うほか、留学生後援会、鶴桜会（OG会）など学生、卒業生への支援を目的とする団体を支援する。

先輩の人生、職業を知る重要な機会として「OB・OG トップセミナー」を実施する。

#### (4) 大学基金への寄付

大学の強い意向を踏まえ、大学が進める大学基金の募金活動に積極的に協力するとともに、大学への寄付金の充実に努める。

#### (5) その他

大学支援にあたっては、新型コロナウイルス感染の状況に応じ、弾力的に工夫して行う。同期会、クラブOB会等種々の機会を通じた寄付土壌の醸成を行う。

### 2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

#### (1) 会員増強活動

卒業式、入学式等大学のイベントにおける入会活動など、在学学生、卒業生に様々な機会をとらえて勧誘を行う。

各種行事において、正会員への入会勧誘を行う。

正会員への入会の契機をつくるため、「登録会員」の支部行事への参加について、行事支援金の支出を行う。

## (2) 活性化活動

### ① 会員交流および広報活動

会員交流および広報活動については、会員交流の場としての会誌ごきそを引き続き、充実するとともに、ホームページリニューアルを完了する。ごきそは、最新の話題、単科会の話題の掲載など柔軟な誌面づくりに努める。

在学生の父母等への会誌の配布を通じて、工業会活動の周知と入会勧誘を行う。

挑戦的課外活動団体の募集を通じて、工業会の認知度を上げるとともに、未加入の学生に入会を案内する。

各種行事における学生の保護者への説明、「OB・OG トップセミナー」の保護者の聴講の機会提供などを行う。

会員情報を基盤として優待制度の充実を図る。

### ② 支部活動等

支部活動について、各支部の多様性に配慮しながら、財政等を通じた支援を実施する。

「登録会員」の支部行事への参加について行事支援金の支出を行う。

全学同窓会に向けて、支部活動の強化を促す。そのため、本部と支部、支部と支部の対話の機会を設ける。(支部長会議など)

支部総会には可能な範囲で本部役員を派遣する。

### ③ 単科会を含む会友との連携

単科会との連携を強化するため、新たな制度を設けるとともに、活動の幅を広げるため、その他の会友組織との連携を強化する。

## 3 全学同窓会初年度の取り組み

(1) 全学同窓会の第一歩としてリモートを活用した講演会、工大祭への参加、卒業後周年行事など、新たな行事について検討する。

(2) 各種行事において、正会員への入会勧誘を行う。(再掲)

(3) 各種行事への「登録会員」の参加を促すとともに、「正会員」への入会の契機をつくるため、「登録会員」の支部行事への参加について行事支援金の支出を行う。(再掲)

(4) 支部要件を見直し、支部設置を希望する地域について、関係支部と協議の上、新たな支部の設置を認める。

(5) 単科会との連携を強化するため、新たな制度を設ける。(再掲)

(6) 会友の定義を明確化し、連携を進める。

(7) 「職域」との連携の新たな在り方を検討する。

## 4. 名古屋工業会の将来に向けた基盤整備

### (1) 中長期財政計画の策定

公益目的支出計画完了を踏まえて、2021年度から新たに設けた「指定定期預金及び債権(終身会費)」(終身会員の将来に向けた活動を確保するための積立)について、着実に積み立てを実施する。(再掲)

新たな収入事業について検討するとともに、会費収入の在り方について検討する。  
一般社団法人として、適切な法人会計について継続的に検討する。

名古屋工業会館跡地に設置した駐車場の運用状況を把握し、必要な調整を行う。

(2) 組織体制の整備

「全学同窓会」にふさわしい役員体制の充実に努める。

(3) 事務局体制の強化

法人としての組織・財政の維持と会員サービスに必要な事務組織の構築と情報化、高度化に対応できる職員の資質向上に努める。事務局長については、必要な能力を有する人物を配置する。

(4) データベースの整備

全学同窓会に相応しい、データベースの構築と維持方法について、検討する。  
会員証の発行等を通じて、住所の把握に努める。

(5) その他

新型コロナウイルス対応、各種災害対応、その他のリスクに備える危機管理体制について検討する。

5 大学連携活動の検討

大学支援事業に当たっては、卒業生連携室等と連携し実施する。また、大学との連携のもとデータベースの構築を進める。

大学の強い意向を踏まえ、大学が進める大学基金の募金活動に積極的に協力するとともに、大学への寄付金の充実に努める。

6 新型コロナウイルス感染拡大により、中止となっている行事に代わり、卒業生が集える行事について検討する。

**名古屋工業会のHP 会員限定ページについて**

会員限定ページをご覧いただく際にはパスワード入力が必要となります。

**【パスワード:gokiso5298】**

表紙写真説明

「涼を取る」 (阿弥陀ヶ滝) 岐阜県郡上市

撮影者 名古屋工業会事務局

# 2022年度収支予算書

(2022年4月1日から2023年3月31日)

## 1. 収入の部

(単位:千円)

勘定科目	2022年度予算(A)	2021年度決算(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業収入等</b>	<b>6,145</b>	<b>6,254</b>	<b>△ 109</b>
(1) 財産利子収入	1,930	1,931	△ 1
(2) 会誌広告収入	400	508	△ 108
(3) 駐車場賃貸収入	3,815	3,815	0
(4) 寄附金収入	0	0	0
<b>2) 入会金, 会費収入</b>	<b>73,550</b>	<b>74,350</b>	<b>△ 800</b>
(1) 入会金収入	30	34	△ 4
(2) 年度会費収入	2,400	2,446	△ 46
(3) 終身会費収入	71,000	71,750	△ 750
(4) 賛助会費収入	120	120	0
<b>3) 雑収入</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>0</b>
(1) 雑収入	35	35	0
<b>4) 積立預金取崩収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>5) 前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1) 前期繰越収支差額	0	0	0
<b>収入の部合計</b>	<b>79,730</b>	<b>80,639</b>	<b>△ 909</b>

※ 2022年度借入限度額及び債務負担額についての該当事項はありません。

## 2. 支出の部

(単位:千円)

勘定科目	2022年度予算(A)	2021年度決算(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業費</b>	<b>56,530</b>	<b>47,815</b>	<b>8,715</b>
(1) 大学支援事業	27,950	27,889	61
ア 教育研究支援	2,250	2,248	2
イ 学生支援	25,700	25,641	59
ウ その他支援	0	0	0
(2) 工業会の充実のための事業	28,280	19,637	8,643
ア 会員増強活動	8,000	6,379	1,621
イ 広報活動	10,000	6,723	3,277
ウ 支部活動	9,200	5,632	3,568
エ 会員慶弔	910	903	7
オ 講演会	170	0	170
(3) 収益事業	300	289	11
ア 駐車場賃貸	300	289	11
<b>2) 管理費</b>	<b>23,200</b>	<b>19,463</b>	<b>3,737</b>
(1) 総会経費	1,500	459	1,041
(2) 管理諸経費	18,700	17,004	1,696
(3) 指定定期預金及債権(終身会費)	3,000	2,000	1,000
<b>3) 積立預金繰入支出</b>	<b>0</b>	<b>13,361</b>	<b>△ 13,361</b>
(1) 特別修繕引当預金繰入支出	0	13,361	△ 13,361
<b>4) 次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1) 次期繰越収支差額	0	0	0
<b>支出の部合計</b>	<b>79,730</b>	<b>80,639</b>	<b>△ 909</b>

第3号議案 一般社団法人名古屋工業会定款の改正

一般社団法人名古屋工業会定款の一部改正について

一般社団法人名古屋工業会定款を以下のとおり改正する。

旧	新
<p>一般社団法人名古屋工業会定款 第3章 会員 第6条 この法人の会員は次のとおりとする。 <u>新設</u></p> <p>(1) 正会員 元名古屋高等工業学校(附設高等夜間部を含む。)、元名古屋工業専門学校、名古屋工業大学(元併設短期大学部、工業教員養成所及び臨時教員養成所を含む。)、元愛知県立工業専門学校の卒業者(中途退学者を含む。)<u>及び第3号、第4号に該当する者</u>で、別に定める会費を納めた者</p> <p>(2)規定省略(学生会員) (3)規定省略(特別会員) (4)規定省略(名誉会員) (5)規定省略(賛助会員) (6)規定省略(会友)</p> <p>(入会) 第7条 この法人の<u>会員</u>になろうとする者は、理事会の定めるところにより、申し込みをし、その承認を受けなければならない。</p> <p>(経費の負担) 第8条 <u>会員</u>は、この法人の運営に経常的に生じる費用に充てるため、入会するとき及び毎年総会が定める入会金及び会費を支払う義務を負う。</p> <p>(退会) 第9条 <u>会員</u>は、理事会において別に定める退会届を提出して任意に退会することができる。</p> <p>(除名) 第10条 <u>会員</u>が次のいずれかに該当する場合には、総会において総代議員の半数以上であつて、総代議員の議決権の3分の2以上の決議により除名することができる。この場合において、その会員に対し、当該総会の日から一週間前までに理由を付して除名する旨を通知し、総会で弁明する機会を与えなければならない。 (1)規定省略(定款、規則違反) (2)規定省略(名誉失墜、反目的行為) (3)この法人の<u>会員</u>としての義務に違反したとき。</p>	<p>一般社団法人名古屋工業会定款 第3章 会員 第6条 この法人の会員は次のとおりとする。 (1) <u>登録会員</u> 元名古屋高等工業学校(附設高等夜間部を含む。)、元名古屋工業専門学校、名古屋工業大学(元併設短期大学部、工業教員養成所及び臨時教員養成所を含む。)、元愛知県立工業専門学校の卒業者(中途退学者を含む。)</p> <p>(2)正会員 <u>前号に定める者及び第4号、第5号に該当する者</u>で、別に定める会費を納めた者</p> <p>(3)同左 (4)同左 (5)同左 (6)同左 (7)同左</p> <p>(入会) 第7条 この法人の<u>正会員</u>になろうとする者は、理事会の定めるところにより、申し込みをし、その承認を受けなければならない。</p> <p>(経費の負担) 第8条 <u>正会員</u>は、この法人の運営に経常的に生じる費用に充てるため、入会するとき及び毎年総会が定める入会金及び会費を支払う義務を負う。</p> <p>(退会) 第9条 <u>正会員</u>は、理事会において別に定める退会届を提出して任意に退会することができる。</p> <p>(除名) 第10条 <u>正会員</u>が次のいずれかに該当する場合には、総会において総代議員の半数以上であつて、総代議員の議決権の3分の2以上の決議により除名することができる。この場合において、その会員に対し、当該総会の日から一週間前までに理由を付して除名する旨を通知し、総会で弁明する機会を与えなければならない。 (1)同左 (2)同左 (3)この法人の<u>正会員</u>としての義務に違反したとき。</p>

<p>(4)規定省略(その他除名すべき正当な理由)</p> <p>2 理事長は、前項により除名するときは、除名した<u>会員</u>にその旨を通知する。</p> <p>(<u>会員資格の喪失</u>) 第 11 条 前 2 条の場合のほか、<u>会員</u>は次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。 (1)規定省略(会費の対応) (2)規定省略(成年被後見人等) (3)規定省略(死亡、失踪、会員団体の解散) (4)規定省略(総代議員の同意)</p> <p>(除名に伴う権利義務) 第 12 条 <u>会員</u>が、第 10 条の規定により除名されたときは、この法人に対する権利義務を免れる。</p> <p>第 4 章代議員 (代議員の資格の喪失) 第 14 条 (省略) 3 前 2 項のほか、代議員は、第 11 条の規定により<u>会員</u>の資格を喪失したときは、代議員の資格を失う。</p> <p>第 5 章 総会 (権限) 第 17 条 総会は次の事項を決議する。 (1)～(2)略 (6) <u>会員</u>の除名 (7)～(10)略</p> <p>(決議) 第 22 条 総会の決議は、この定款に規定するものを除き、出席した代議員の議決権の過半数をもって行う。 2 前項にかかわらず、次の議決は、総代議員の半数以上であって、総代議員の議決権の 3 分の 2 以上をもって決する。 (1)<u>会員</u>の除名 (2)～(6)省略</p> <p>第 6 章 役員等</p> <p>第 24 条 この法人に、次の役員を置く。 理事 3 名以上 <u>10</u> 名以内 監事 2 名 2 理事のうち 1 名を理事長、<u>4</u> 名以内を副理事長、1 名を常務理事とし、理事長をもって法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事をもって法人法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。</p>	<p>(4)同左</p> <p>2 理事長は、前項により除名するときは、除名した<u>正会員</u>にその旨を通知する。</p> <p>(<u>正会員資格の喪失</u>) 第 11 条 前 2 条の場合のほか、<u>正会員</u>は次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。 (1)同左 (2)同左 (3)同左 (4)同左</p> <p>(除名に伴う権利義務) 第 12 条 <u>正会員</u>が、第 10 条の規定により除名されたときは、この法人に対する権利義務を免れる。</p> <p>第 4 章代議員 (代議員の資格の喪失) 第 14 条 (省略) 3 前 2 項のほか、代議員は、第 11 条の規定により<u>正会員</u>の資格を喪失したときは、代議員の資格を失う。</p> <p>第 5 章 総会 (権限) 第 17 条 総会は次の事項を決議する。 (1)～(2)略 (6) <u>正会員</u>の除名 (7)～(10)略</p> <p>(決議) 第 22 条 総会の決議は、この定款に規定するものを除き、出席した代議員の議決権の過半数をもって行う。 2 前項にかかわらず、次の議決は、総代議員の半数以上であって、総代議員の議決権の 3 分の 2 以上をもって決する。 (1)<u>正会員</u>の除名 (2)～(6)省略</p> <p>第 6 章 役員等</p> <p>第 24 条 この法人に、次の役員を置く。 理事 3 名以上 <u>12</u> 名以内 監事 2 名 2 理事のうち 1 名を理事長、<u>5</u> 名以内を副理事長、1 名を常務理事とし、理事長をもって法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事をもって法人法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。</p> <p>附 則 この定款は、令和 年 月 日から施行する。</p>
--	---

# ホットライン

## 表彰者紹介

2021年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。

2022年度の名古屋工業会の総会で、工業会より表彰を行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止と致しましたので、記念品をご自宅へ郵送させていただきました。

### 「紫綬褒章」 (生物物理学研究功績)

神取 秀樹



#### 【学 歴】

1984年 3月 京都大学理学部 卒業  
1989年 3月 京都大学大学院理学研究科  
博士課程修了

#### 【職 歴】

1990年 4月 分子科学研究所 博士研究員  
1992年11月 理化学研究所 博士研究員  
1993年12月 京都大学大学院理学研究科 助手  
1999年 1月 京都大学大学院理学研究科 講師  
2001年11月 名古屋工業大学大学院工学研究科  
助教授  
2003年 4月 名古屋工業大学大学院工学研究科  
教授  
2022年 4月 名古屋工業大学大学院工学研究科  
特別教授

コメント：紫は、私が研究してきた様々なロドプシンの色であり、研究に関わったすべての方に心より感謝いたします。私たちの研究分野は様々な学問の境界領域であり、医学や工業への展開も可能です。これからも意欲あふれる名工大の学生さんとともに、ロドプシン研究を前に進めます。

### 「瑞宝中綬章」 (国土交通行政事務功勞)

山根 隆行



#### 【学 歴】

1975年 3月 名古屋工業大学土木工学科（Ⅱ部）  
卒業  
1977年 3月 名古屋工業大学大学院工学研究科  
（土木工学専攻）修了

#### 【職 歴】

1977年 4月 運輸省 入省  
1984年10月 関西国際空港株式会社へ出向  
1995年 5月 茨城県土木部港湾課長  
2006年 4月 国土交通省国土技術政策総合研究所  
副所長  
2008年 8月 国土交通省 退職  
2020年10月 特定非営利活動法人 港湾保安対策機構  
理事長就任

コメント：この度は、母校より過分なるお祝いの品を頂戴し、名古屋工業会各位のご厚情に心より感謝申し上げます。私といたしましては、此の度の受章は誠に奇跡とも思え、身の丈に余る礼服をお与え頂いた様な心持ちで少々落ち着かない感じが致しております。振り返りますと、大過小過の連続の様な気が致しますが、良き先輩、同僚、仲間の皆様に支えられましたこと改めて感謝申し上げます。私の受章が少しでも母校の名誉に寄与してありましたら誠に嬉しい限りです。名古屋工業大学の益々の御発展を祈念申し上げます。

「瑞宝中綬章」  
(教育研究功勞)

松井 寛



【学 歴】

1964年 3月 大阪大学工学部構築工学科 卒業  
1966年 3月 京都大学工学研究科 土木工学専攻  
修士課程 修了

【職 歴】

1966年 4月 京都大学工学部 助手  
1968年 4月 名古屋工業大学 講師  
1974年10月 名古屋工業大学 助教授  
1983年10月 名古屋工業大学 教授  
2002年 4月 名城大学 教授  
名古屋工業大学 名誉教授  
2011年 3月 名城大学 退職

コメント：一般社団法人名古屋工業会様より思いもかけずこの度の私の叙勲に対し丁重なるお祝いと記念品を頂戴いたしまして、誠に恐縮し、また光栄に存じております。ありがとうございました。報道等で名古屋工業大学の教員や卒業生の活躍ぶりを時折拝見いたします。名古屋工業大学と貴工業会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

「瑞宝中綬章」  
(教育研究功勞)

尾中 証



【学 歴】

1965年 3月 東京大学理学部化学科 卒業  
1970年 3月 東京大学理学研究科 化学専攻  
博士課程修了 理学博士

【職 歴】

1970年 7月 名古屋工業大学化学教室 講師  
1971年12月 名古屋工業大学化学教室 助教授  
1974年 9月 米国ノースウェスタン大学 客員准教授  
1984年 3月 名古屋工業大学工学部 教授  
1996年 4月 名古屋工業大学大学院工学研究科に  
配置換え  
2004年 3月 名古屋工業大学 定年退職  
2004年 4月 名古屋工業大学 名誉教授

コメント：名古屋工業会からの記念品、有難く頂戴致しました。今回の叙勲は金原子をはじめとする金属クラスター合成研究に対するものですが、2003年の国の「悪手」である大学法人化に強く反対した私に叙勲を賜った文科省の懐の深さはさすがです。危惧した通り、大学の基礎研究は危機的状況です。「民族主義」を捨て、「広い視野と展望」を持って、名工大がこの危機に対処されることを祈願しております。



# 交流コーナー

## 先行開発こそが優位性を確保する ～目標設定にフロントローディングを～

株式会社ワールドテック 代表取締役 寺倉 修 (F50)

### 1. はじめに

2018年度版の経済産業省「ものづくり白書(製造基盤白書)」に筆者の提言が取り入れられました。その趣旨は、「設計段階から品質管理を意識した仕組み作りを行わなければならない。ミスがある設計や、品質担保が難しい設計になっている場合は、製造現場でいくら頑張っても品質管理に取り組んだとしても品質担保が難しくなる」ということです。

ものづくりはカイゼンなどの「現場力」と共に、設計段階の取り組み「設計力」が大切なのです。\*「設計力」は弊社ワールドテックの登録商標

従って、「設計段階で品質とコストの80%が決まる」という現実をも踏まえ、それにふさわしい設計段階の取り組みを実践することが不可欠、且つ普遍的な課題です。

この設計段階の取り組みは、大きく2つに分かれます。「先行開発」と「量産設計」の取り組みです。先行開発が、競合企業に対し品質やコストの面で「優位性」を確保し、量産設計は、顧客の「信頼」を保ち続ける取り組みです。

### 2. 先行開発の取り組み

今回は、競合企業に対し優位性を確保する「先行開発」の取り組みについて、筆者の経験を紹介いたします。現在、自動車業界はCASE (Connected;コネクテッド、Autonomous;自動運転、Sharing;シェアリング、Electric;電動化)の進化で100年に1度の変革期を迎えたといわれています。しかし、実は1980年代にも自動車業界は大きな変革期を経験しました。エンジンシステムがキャブレター方式から電子制御燃料噴射システム(EFIシステム)に急速に置き換わったのです。

この大変革期に、自動車部品メーカーの開発

設計者だった筆者が経験した、電子制御システムを構成するセンサーの先行開発を取り上げます。

開発のリソースを確保し、次に開発する製品を選び、更には競合企業に優位に立つ目標値を見いだす、までの先行開発の取り組みについて、考え方と根拠を重点に紹介します。

特に、電動化の進展でエンジン部品が減るなど、危機感を覚えている方々には一読いただきたいと思っています。

### 2.1 開発する製品の選定

開発する製品の選定とは、優位性(以下、ダントツ)を狙う新製品を決める取り組みです。次の手順を踏みました。

- (1)市場動向の把握
- (2)開発リソースの確保
- (3)新製品を選ぶ方針決め
- (4)方針に基づく新製品の選定

#### (1)市場動向の把握

当時、前述のように自動車用エンジンシステムを、キャブレターから電子制御燃料噴射システムへ転換する動きが急速に進みました。(図1)

その結果、新たな製品が数多く誕生する状況でした。電子制御燃料噴射システムに使われる新製品をタイムリーに開発する部署は、事業を大きく伸ばしていました。新製品の開発は、システムの変革期に乗り遅れずに取り組むことが

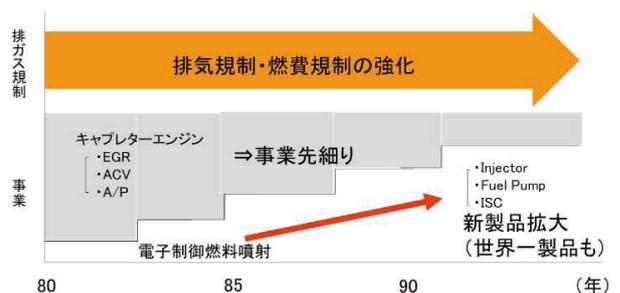


図1. 法規制の強化でエンジンシステムが大きく変化

大切です。

一方で、キャブレーターシステムに使われる製品を開発設計していた筆者のグループは新規製品の開発が減り、事業は先細りの状況でした。そこで、新しい製品を開発し、この事態を打開することにしたのです。

## (2) 開発リソースの確保

こうして新製品の開発を打ち出しましたが、開発には人と資金が必要です。しかし、新製品を開発する旗印を掲げても、意気込みだけでは人も資金も補充されませんでした。そこで、自職場内で人と資金を捻出する取り組みを開始しました。「**選択と集中**」によるアウトソーシングです。

自職場では複数の製品を担当していましたが、売上げがそれなりに大きい製品もあれば、小さいものもありました。そこで、製品別に設計者1人当たりの売上げを計算し、1人当たりの売上げの大きなものは開発を継続し、小さなものはアウトソーシングすることにしたのです。この選択と集中の判断基準は、事業部における設計者一人当たりの売上げの目標値としました。(図2)

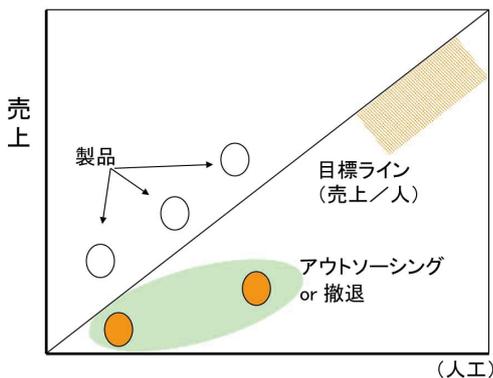


図2. 売上げを基に選択と集中

## (3) 新製品を選ぶ方針決め

選択と集中で開発リソースを捻出したのですが、続いての取り組みは、それまでの製品開発の振り返りです。何故か、忙しさの割には売上げが常に少なかったのです。そこで、同じ轍を踏まないよう、まず振り返りを行い、それを

踏まえ、取り組む「**方針**」を決めたのです。

手順は、

①これまでの開発の問題点を見いだす

②真の原因を明らかにし、方針を決定する

①**これまでの開発の問題点を見いだす**

継続的に新製品を市場に投入してきたにも拘わらず、なぜ売上げが小さいのか、既存製品のQ (性能や信頼性など)とC (コスト)、D (ここでは投入時期) の点で振り返りました。しかし、顧客に悪影響を与えている要因は認められず、競合企業にも劣っていませんでした。

これに対し、隣の部署は売上げがかなり大きく、利益もしっかり確保して事業部の柱となっていました。筆者の部署の売上げは1/10に満たず、差は歴然でした。隣の部署の製品はまさに成功例だったのです。

そこで、この成功している例を基に、これまでの取り組みの何がまずかったか議論を深めました。「**成功例との比較**」です。結果、従来の問題点は、「売上げが小さな製品ばかりを手掛けてきたことにある」という判断に至りました。それまで、売上げが小さな製品ばかりを手掛けていることが、実は大きな課題であると、認識していなかったのです。

②**真の原因を明らかにし、方針を決定する**

次は、原因について議論しました。なぜ売上げの小さい製品ばかり開発してきたのか、やり方のまずさの「**真の原因**」への掘り下げです。真の原因は「**管理上の原因**」とも表現します。

管理上の原因を明らかにする価値は、これからの開発の「**方針**」が決まるところにあります。**管理上の原因を裏返せば、それが方針**です。

管理上の原因は、「限定されたシステム向けの製品ばかり…標準化設計を取り入れていなかった」。これを踏まえ、「汎用システムを対象に、広く世界に通用する製品を選び開発する」という、**新製品を選ぶ方針を決定**しました。

管理上の原因の見極めには、多くのメンバーと共に十分に時間をかけて検討したいものです。なぜなら、導かれた原因から、新製品を選ぶ方針が見いだされ、以降の活動が決まるから

です。

方針が、先行開発の取り組みに大きく影響するのです。方針が異なると、選定する製品が全く別のものになってしまいます。従って、「方針決め」に「フロントローディング」することが大切なのです。

#### (4) 方針に基づく新製品の選定

新製品選定の方針が決まったので、次は、具体的に製品の選定に取り組みました。

手順は、

- ①システムを選ぶ
- ②開発する製品を決定する

##### ①システムを選ぶ

まず、製品を選ぶため、システムを調査しました。自動車の電子制御システムはどのようなシステムがあり、どれだけの製品(センサー)が使われているのか、調べたのです。(図3)

手順は、

- A. 車載電子制御システムの情報収集
- B. システムを構成するセンサーをリストアップ
- C. さまざまなセンサーの市場規模をシステム別に推定
- D. 将来性をも判断し、対象とするシステムを選定

検討には、「ロードマップ」(各電子制御システムの動向の見極め)を使いました。結果、選んだのは駆動系システムでした。当時は駆動系センサーの市場規模は小さかったのですが、急速に電子制御化が進むと判断しました。新たな市場の拡大が期待されたのです。情報は待ちの

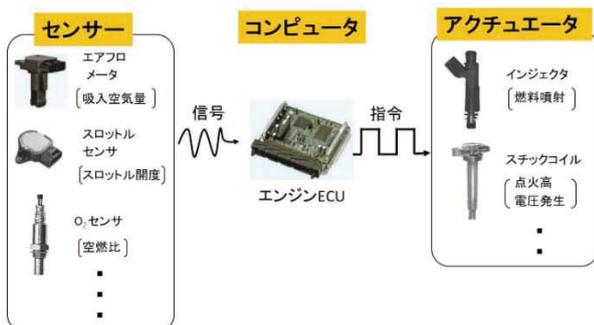


図3. 当時の電子制御システムの構成 (例)

姿勢では集まりません。「足で稼ぐ情報収集」という根気の要る取り組みが不可欠です。

##### ②開発する製品を決定する

システムを選んだので、次に製品の選定に取りかかりました。10年のスパン(期間)でシステムの進化を推定し、システムに使われる各製品の市場規模を定量的に予測しました。その手順は次の通りです。

- A. 対象システムの推移を予測
- B. それに伴う制御の動向を推定
- C. その制御をコントロールするために必要な物理量を判断
- D. その物理量を扱うための製品の見極め

このようにして開発する製品を決定したのです。もちろん、選んだ製品が職場の基盤技術の延長線上で対応できるかどうかも重要な判断基準でした。

#### 2.2 ダントツ目標値の設定

こうして開発する製品が決まったので、次は競合企業に優位に立つダントツ目標値の設定です。

手順は、

- (1) ベンチマーキングによるダントツ目標項目の選定
- (2) ダントツ目標値の決定

##### (1) ベンチマーキングによるダントツ目標項目の選定

まず、ワールドワイドな調査を行いました。世界市場では複数の先行企業があったのですが、いわゆる「ダントツ企業」がないということが分かりました。この状況を私たちは勝つチャンスと捉えました。すなわち、ダントツ企業がなぜないかを踏まえれば、勝つための目標項目を絞り込み、見いだせると判断したのです。

手順は、以下です。

##### ① ワールドワイドな他社製品調査

開発する上で競合となる世界の主な企業の製品を取り寄せ、性能や機能、体格、構造、コストなどを精査しました。すなわち、「他社製品

調査」です。

分かったことは、世界のどの企業の製品も、コンセプトが類似しており、性能やコストの「差異化」ができていないことでした。

## ②ダントツ目標項目設定

なぜ差異化できていないのだろうか、開発の取り組み方の原因、すなわち「管理上の原因」を議論しました。

第1原因：「性能差なし・コスト差なし」という事実がある

第2原因：「納入先の要求通り設計・基本構造が同じ」ということが原因だろう

第3原因：「システム上の「うれしさ」をつかんでいない・既存技術の範囲内での設計」をしていると判断できる

結果、「顧客のシステムを考えていない」、「既存の技術から抜け出せない設計」という「管理上の原因」に行きついたのです。

先述の通り、管理上の原因を裏返すと対応方針が決まります。方針は、『顧客のシステムに「真のうれしさ」があるダントツ性能』、および、『差異化技術』によるダントツコスト』達成としました。(図4)

問題点	第1原因	第2原因	第3原因	管理上の原因	対応方針
現状	性能差無し 0 1 2 [Bar Chart]	センサメーカー確認 納入先の要求通り設計 駆動系上のうれしさをつかんでいない 駆動系システム全体で考えていない			駆動系システムに真のうれしさがあるダントツ性能達成
	ダントツメーカー無く コスト差無し 0 1 2 [Bar Chart]	現物確認とセンサメーカー確認 基本構造が同じ設計 既存技術の範囲内で設計 大胆な発想設計無し			差別化技術によるダントツコスト達成

図4. 管理上の原因から対応方針を見いだす

## (2)ダントツ目標値を設定

ダントツ性能とダントツコストと2つ開発項目を設定したので、次はその値の設定です。ここでは、ダントツ性能の値を決めた取り組みを紹介します。

性能に対する方針は、「顧客のシステムに真のうれしさがあるダントツ性能」達成でした。

「真のニーズ」(顧客のうれしさを商品仕様に置き換えたもの)を掘り起こさねばなりません。

チーム全員「部品技術屋」でしたが、その立場にとどまらず、「システム技術屋」として取り組みました。(図5)



図5. 上位のシステム技術者として真のニーズの掘り起こし

顧客の立場に立って真のニーズを探したのです。まず調査方法を検討。システム実機調査や文献調査、特許調査、自動車メーカーへの出向者情報などを挙げました。予想効果や工数、要する期間などを踏まえ、実機調査と出向者情報の2本柱で進めることにしたのです。こうして、社内の実験部署と他の関係部署、出向者などで部門横断型チーム(クロスファンクショナルチーム)を結成。システムの勉強会や出向者との意見交換会などを計画的に行い、顕在化していないニーズの掘り起こしを進めていきました。

結果、顧客にとってうれしいシステムコストダウンとなるダントツの性能値を見いだしたのです。顧客へ提案したところ、その通りと受け入れられました。まさにこれが提案型の取り組みでしょう。

次は、ダントツ目標値が持つネック技術突破への取り組みですが、今回はここまでです。以降の取り組みは、またの機会があれば紹介します。

先行開発とは、競合企業に優位に立つ、究極は世界No.1の目途付けをする取り組みです。今回は先行開発の中のダントツの目標値設定までの取り組みを紹介しました。

競合企業に優位に立てるか、顧客が製品を受け入れるかは、ここで紹介したように設定する

目標値が大きく影響します。目標値決めには十分時間を掛けねばなりません。開発期間中に目標値を変更する影響の大きさをも考えると、製品の職場での重要度にもよりますが、半年や1年といった時間を掛けても惜しくはないはずで

す。目標値決めには是非フロントローディングしてください。

最後に、名工大出身者の方々が、世界No.1のものづくりへ挑戦されることを願ってやみません。

#### ■筆者紹介

1975年 名古屋工業大学計測工学科 卒業  
1978年 株式会社 デンソー（当時 日本電装）入社  
2005年 株式会社 ワールドテック 代表取締役  
現在に至る

\* 弊社は、大手自動車部品企業出身者が集まり、ものづくりの支援を行っています。「ごきそ」裏表紙の広告をご覧ください



#### ●著書

- \* 「設計力」こそが品質を決める (2020 第9刷)
- \* 「設計力」を支えるデザインレビューの実際 (2018第4刷)
- \* 「設計力」こそがダントツ製品を生み出す (2018)  
以上、日刊工業新聞社
- \* 開発設計の教科書 (2019年) 日経BP社

- 日経 x TECHコラム「設計力の魂」をオンライン連載  
(100回目2022年5月)  
<https://tech.nikkeibp.co.jp/atcl/nxt/column/18/00036/>



## 新聞記事コーナー

## 中日新聞

掲載日	刊	面	氏名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2022/4/3	朝	14	名古屋工業大学	—	(広告)2022年躍進する大学の学長メッセージ
2022/4/9	朝	28	伊藤孝紀	社会学専攻	CBC審議会委員決まる
2022/4/9	朝	22	野球部	—	愛知大学野球 きょう開幕 つかめ 春の栄冠 昨秋王者6校が追う
2022/4/23	朝	16	川崎晋司	生命・応用化学専攻	「社会貢献役立てて」 JKAが補助金交付 県内16団体・個人に
2022/4/30	朝	17	北川啓介	社会学専攻	安価で高性能 簡易住宅 名工大教授が考案 数時間で完成、宇宙に適用も
2022/5/1	朝	3	名古屋工業大学	—	10兆円基金 名大など申請へ 国立大調査 27校検討、42校見送り地方大 格差拡大を懸念
2022/5/3	朝	16	秀島栄三	社会学専攻	黒川の生態系や歴史を動画で紹介 名古屋・北区が「ぜんぶ歩いてみた!」公開
2022/5/3	朝	16	田住 梓	在校生 (社会学専攻)	Z世代のリアル (1)名古屋の作品制作団体「ND3M」デジタルで発想を形に
2022/5/14	朝	18	中野二郎	元教員 (建築学科助手)	名古屋にゆかり マンドリン界の草分け 故中野二郎さんの功績知って 親交あった研究者 工藤さん出版
2022/5/20	朝	1	萱場祐一	社会学専攻	農業用 別河川から取水 明治用水 愛知県が緊急許可 工業用確保めど
2022/5/21	朝	13	伊藤孝紀	社会学専攻	コロナ後 街の未来像は 名古屋・名駅南地区で勉強会
2022/5/26	尾張版 朝	12	麓 和善	名誉教授 (社会学専攻)	「費用は億単位」 江南市が保存断念 価値判断ないまま 久昌寺解体 郷土史研究会会長 「タイミング遅すぎた」
2022/5/30	朝	9	ボート部	—	sports愛知 ◇中部学生選手権競漕
2022/5/31	三重版 朝	15	水泳部	—	水泳 中部学生短水路競技大会(29日・愛院大) = 1位記録
2022/6/1	朝	7	名古屋工業大学	—	工場効率化へ新研究所 豊田織機×名工大
2022/6/2	朝	15	水泳部	—	水泳 中部学生短水路競技大会(5月29日・愛院大) = 1位記録
2022/6/5	朝	19	野球部	—	野球 愛知大学リーグ入れ替え戦(2部) 名商大に惜敗(4日) = 中日新聞社後援
2022/6/6	朝	19	野球部	—	野球 愛知大学リーグ入れ替え戦(2部3部) 名商大に惜敗(5日・愛院大) = 中日新聞社後援

# 情報 ネットワーク

## 令和4(2022)年度 尾張支部総会報告

と き 令和4年4月9日(土)

13時30分～17時00分

ところ 名古屋文理大学文化フォーラム  
(稲沢市民会館)小ホール

2年続いて書面審議となった尾張支部総会を、今年度は何とか対面で開催できないかと準備を進めてきたが、懇親会だけは知事や本部の要請に従って中止の決断をした。従って参加費は無料とした。コロナ禍が続く中、例年のほぼ半数の31名が参加した。以下、その報告である。

### 《第1部：支部総会》

一昨年(令和2年)4月11日、名古屋工業会尾張支部総会(書面審議)において承認された前支部長・音無通男氏の後任で、名古屋工業会尾張支部長の伊藤美保(D44)の挨拶のあと、ご来賓の名古屋工業会理事長の加川純一氏、名古屋工業大学学長特別補佐の河邊伸二教授よりそれぞれご挨拶をいただきました。又、本部から内藤常務理事にもご臨席いただきました。

#### (1)事業報告・行事計画の提案

冒頭に、3年目の支部長(本部代議員も兼ねる)としての抱負

- ① 本来の同窓会としての使命であると思われる「職域間の交流に貢献」することを重視した

い。各職業間の交流・利益供与に貢献。そのための恒常的な交流会も検討したい。

- ② ①の実現のために、若い会員、未だ会員になってみえない同窓生、そして女性の会員の支部活動への参加を促す。支部総会や工場(社会)見学会への参加費の削減も模索。

- ③ 魅力ある支部総会・支部工場(社会)見学会・交流会の充実のため、ボランティア活動となっている支部役員会等への絶大なる援助を検討したい。せめて、活動の旅費を本部なみに支払うこと。

- ④ 2021年度事業報告では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本部・支部ともほとんどの活動が中止になり、書面審議が中心となった。支部役員会は、5回の内3回が対面、後はメールでの審議となった。

- ⑤ 事業計画案も併せて提案:支部活動の充実・活性化を図り、会員相互の交流を一層促進する。そのため、本部行事(定期総会・会員総会、見学会・新年互礼会等)への参加、支部関係行事(2023年4月8日・土に予定されている支部総会、蒲郡市に予定されている工場・社会見学会、支部役員会等)に積極的に参加する。

- (2)会計報告・会計監査報告:魚住弘一会計幹事から会計報告、山内勝博監事から会計監査報告があった。

- (3)支部役員人事案の提案:支部長から新役員1名を含む「2022年度尾張支部役員人事案」が提案された。

2021年度事業報告、会計報告・監査報告、2022年度事業計画案・支部役員人事案は、全員一致で了承された。

### 《第2部：特別講演》

「分子から見る光エネルギーと生命科学」と題して、名古屋工業大学大学院工学研究科・共同



加川理事長ご挨拶



出羽先生ご講演

ナノメディシン科学専攻教授の出羽毅久先生のご講演を拝聴しました。

コロナウイルスワクチンで一般に知られるようになったDNAとmRNAの関係に始まり、光合成生物の進化、次に天然の光エネルギー変換システムの“光合成”の仕組みを、最後に現在非常に脚光を浴びている人類が考えた“人工光合成”のお話を頂きました。難解な内容をわかりやすく説明されつつ、日本の技術で夢の人工光合成が世界に先駆けて実用化されるのではないかと期待を抱いた内容でした。

(第2部の文責：小久江副支部長)

### 《第3部：ミニコンサート》

コーヒータイムの後、尾張支部恒例、お待ちかねのミニコンサートは、ソプラノに西畑佳澄、鈴木里奈、バリトンに野々山敬之、ピアノに宇野伊世の皆さんを迎えての楽しいコンサートとなりました。Jシュトラウスの「春の声」、シュー



ミニコンサート

ベルトの「野ばら」、モーツァルトの「フィガロの結婚」、山田耕作の「この道」など3名の歌手とピアノ奏者、計4名の皆さまがたっぷり12曲を歌い上げていただき、堪能させていただきました。

最後に、長年にわたり尾張支部総会の司会をしていただきました小野乃里依さんが、今回をもって引退されるということでご挨拶がありました。長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。

### 《第4部：記念撮影》

例年通り、参加者全員の記念撮影ができました。



集合写真

### 《第5部：懇親会》

残念ながらコロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、散会いたしました。

尚、来年度の尾張支部総会の日程・場所が決まりました。

令和5(2023)年度の尾張支部総会は、令和5年(2023)年4月8日(土)名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールが予約できました。来年は、何とかフルバージョンで実施したいと思います。

記：尾張支部長 伊藤 美保(D44)

# 第10回 大阪支部交流サロンの開催(Web講演)

令和4年4月23日(土)に会員相互の親睦と交流を目的に、若手・女性部会主催の「第10回名古屋工業会大阪支部交流サロン(Web講演)」を開催いたしました。若手現役やシニアも含めた楽しい交流会となりました。

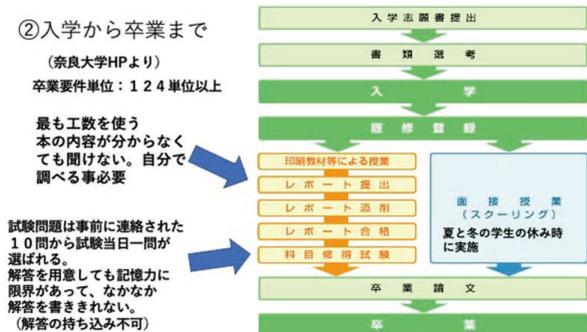
今回は、初参加の9名を含め、名古屋、横浜、石川から参加があり、37名の多数参加となりました。懇親会はございませんでしたが、講演と質疑、懇話で約2時間30分の賑やかな交流会となりました。

講演タイトルは、『奈良大学通信教育課程を卒業して』と題して、元光洋精工の横山誠(K47)様に、通信教育の内容・特徴と卒論「明治の神葬祭の展開と限界」の紹介、及び地域の歴史情報の調査(大塩平八郎の乱等)とライフワークである「歴史探訪」活動のお話をいただきました。

Web会議が初めての方には事前に接続テストも実施いたしました。

記：坪田博隆(M51)

## 奈良大学通信教育について：通信教育部 文化財歴史学科



### 1. 奈良大学通信教育部 文化財歴史学科の紹介

奈良大学通信教育で学んだ事(良かった事)

- 歴史は各層の人々の積み上げであることが理解できた。  
例えば：人民・農民の歴史⇒民俗学  
町民の歴史⇒『日本永代蔵』など  
公家の歴史⇒『増鏡』などに記録されており、それぞれの歴史の見方が異なる。  
**歴史は一つだけの流れではない！**
- 卒論調査などで、自分で自主的に調査するコツがつかめた。  
図書館の調査などで、関連事項がいもづる式に判ってくる。  
例えば、神葬祭対応で龍田大社の動きが記録文書から理解でき、安増村の人々がなぜ地元ではない龍田大社に神葬祭をお願いしたかが理解できた。
- 同じ世代の人々が70歳を超えても、歴史の勉強に頑張っておられる姿に励まされた。

### 2. 奈良大学で学んだこと、良かったこと

#### 1. はじめに：神葬祭の実態調査対象の3地域

- 1) 十津川村  
・紀伊山地の山中の大きな村  
・全村が神葬祭に変わり、継続
- 2) 奈良市丹生町  
・奈良市にはなったが大和高原の山中の村であった。  
・全村が神葬祭に変わり、継続
- 3) 生駒郡安堵町  
・奈良盆地内にある。  
・村の一部が神葬祭を始めその後、仏式に戻った



#### 3. 卒業論文 奈良県の神葬祭調査地域

#### 十津川村の祖霊社 写真② 国王神社と神社内の祖霊社



祖霊社は本殿の横に並んで置かれている・・・珍しい

#### 4. 卒論調査 十津川村神社の祖霊社

#### 参考：大塩平八郎の檄文



檄文(原文) 木版刷で版木屋に一行を四段に分けて彫らせ、大塩自らが組み立てて印刷した

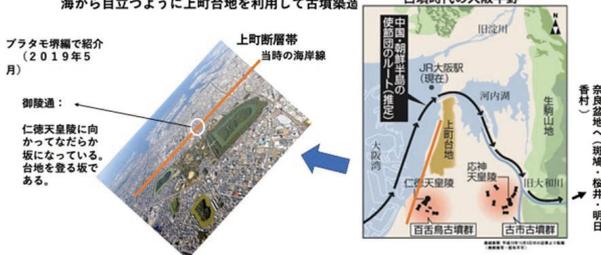
【要点解説】  
上に立つもの(主君)は善行を高くした生活をしている。また大切な政にたずさる役(公)は、開明を公称し受容しあつたり、奥向の中に家業を誇り込み、つたない身分から立身出世し、自分自身や自分の家の栄えることだけに専心している。そのため上立つものは自分の領地の、また役人は自分の知行地の民百姓に多大な用命を私わけて、年貢増徴の負担が大変なことに無理な負担を強いている。民百姓は四海困窮するに及んでいふ。

#### 5. 地域の歴史調査1 大塩平八郎檄文

#### 調査事例2 堺市の歴史的動向：古墳時代

##### 1. 古墳時代・・・東アジア情勢の変化に対応

海から自立つように上町台地を利用して古墳築造



プラタを掘削で紹介(2019年5月)  
御陵通：仁徳天皇陵に向かってなだらか坂になっている。台地を登る坂である。

#### 6. 地域の歴史調査2 堺市百舌鳥古墳の立地

## 令和4年・大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告

堺巡り（環濠エリア、古墳エリア）担当：大阪支部「集いの会」横山誠・神戸孝

- 日 時：令和4年4月24日（日） 10：00～17：00 参加者数：19名
- 内 容：・ 呂宗助左衛門像（堺港）…戦国時代の堺の伝説的貿易商人。NHK大河ドラマ『黄金の日々』
- ・ 堺事件碑・天誅組上陸の碑…明治維新時、堺港が舞台となった事件。
  - ・ さかい利晶の杜（展示・体験館）…茶人千利休と歌人と謝野晶子の生涯、関係資料の展示。
  - ・ 南宗寺見学…三好長慶が開山。重文の仏殿、山門、唐門や徳川家康の墓がある。
  - ・ 履中天皇陵古墳…仁徳天皇陵古墳に次ぐ巨大古墳。仁徳天皇陵より古く5世紀前半に築造。
  - ・ 大仙公園日本庭園…堺市制100周年を記念して平成元年に開園。市民の憩いの庭園。
  - ・ 堺市博物館…堺の古代、中世、近世、近代の歴史を分かりやすく解説・展示
  - ・ 仁徳天皇陵古墳…世界3大古墳であり、日本最大の前方後円墳

### 報 告：

- ・ 今回の歴史探訪は、堺の環濠エリアと古墳エリアの名所を巡りました。百舌鳥・古市古墳群が世界遺産となり、これら古墳を巡ることを心待ちにしておりましたが、コロナ禍で施設などの休止・制限などが続き、昨年の実施予定の堺探訪がやっと叶ったものです。
- ・ 堺の歴史を調査してみると、古墳時代には5世紀に多くの巨大古墳が造られ、戦国時代には国際貿易港として栄え、堺からの鉄砲供給で織田信長の天下統一に貢献し、更には明治維新ではフランス水兵と交戦した堺事件が起きています。これらの事より日本の歴史が大きく動く時には、堺が関与していることが理解でき、堺の果たした役割が非常に大きいことが分かりました。
- ・ 今回のツアーは堺港にある呂宗助左衛門の像の見学から始めましたが、豪商ゆえに石田三成らに妬まれて助左衛門は邸宅没収の処分を受けます。彼はルソンに脱出し現地で更に貿易活動をするので現地でも豪商として活躍した助左衛門のバイタリティーに参加者はみな感心したものです。
- ・ 南宗寺には徳川家康のお墓があり、大坂夏の陣で、家康が後藤又兵衛に槍で殺害されるという言い伝えもあるというガイドさんからの説明もあり、ミステリーが多く伝わる寺で非常に興味深かったです。
- ・ 大仙公園内の日本庭園は市政100年と記念して昭和の小堀遠州と称された造園家・中根金作さんの設計で造られたスケールの大きな庭園です。多くの堺市民の憩いの場となりました。
- ・ 仁徳天皇陵古墳は中国の始皇帝陵、ピラミッドと並ぶ世界の3大古墳で、とにかくスケールの大きさに感動しました。またこの古墳が造られた時は、この古墳のすぐ横に海岸線があったことを理解し、中国や朝鮮半島からの訪問者が、海から眺めた巨大な古墳に驚いたことが想像されました。
- ・ 久しぶりの探訪で結構歩きましたが、みなさん快い疲れを感じながら帰路につかれました。

記：横山 誠(K47)・神戸 孝(K50院)



「美々卵」での食事後



大仙公園日本庭園にて



仁徳天皇陵にて

株式会社基土木設計事務所は、  
民間の社会資本整備に特化した設計会社として、より高い技術力と  
より迅速な行動力によって皆様の要望にお応えします。

## 土木技術ソリューショングループ 政秀塾の社会貢献

### 政秀塾



#### 土木技術教育として

- ・技術検定対策
- ・本の出版 他

#### 土木技術の伝承として

- ・土木技術講演会
- ①山岳トンネルの話
- ②環境の話 他

#### テーマ別研究として

- ・ジオメカニクス研究会

株式会社 基土木設計事務所

代表取締役 宮武 功 (土木 S36年卒)  
常務取締役 廣村 修 (土木 S54年卒)  
設計部 課長 庄司 弘久 (社会開発 H1年卒)

詳細は  
会社QRより

(株)ブライダルは  
名古屋工業大学会員の皆様の  
「結婚」を応援します。

44年の実績

登録料 33,000円(税込)

100%OFF

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) 0120-415-412  
http://www.bridal-vip.co.jp

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄 3-7-13 コスモ栄ビル 9F  
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 28F  
豊橋支社 〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿無番地 豊橋駅ビルカルミア 4F

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで  
トータルサポートでお値打ち!!

#### デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物 etc  
タイプ・電子組版時代から書き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不向きとされる縦組みの書籍・表組みの買物も得意分野です。

#### 印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。  
Macintoshのみならず、ワード・大塚等の高精オセット印刷に最適なWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

#### 製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りたいたいとお考えの方。  
各種マニュアル・伝帳・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで  
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

- 技術系全25講座 — 材料、加工、設計、電気・電子、組込コンピュータ 各種要素技術…
- 品質系全30講座 — DRBFM、なぜなぜ分析など 各種未然防止手法
- マネジメント系全10講座 — 経営品質、もしドラ・タシツ、プロジェクト管理…

『開発設計の教科書』(日経BP 2019出版)

WORLDTECH 株式会社 ワールドテック

代表取締役 寺倉修 (F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階  
TEL : 052-211-7861 E-mail:solutions@worldtech.co.jp

### 広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

#### 学内

- 吉田奈央子
- 佐藤 篤司 (A10)
- 牧野 武彦
- 酒向 慎司 (I11)
- 杉本 英樹 (ZW6)
- 安井 孝志 (D62)
- 本多 沢雄 (ZY6)
- 小坂井孝生 (K49)
- 米谷 昭彦 (F60)
- 川村 大伸 (SS16)
- 宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)

#### 学外

- 祖父江貴宏 (SC4)
- 成田 憲人 (SU10)
- 浅井 一仁 (IIM21)
- 廣瀬 光利 (E50)
- 吉木 満 (W56)
- 高取 奨 (D6)
- 野々山尚志 (Y63)
- 大矢 泰正 (K52)
- 寺倉 修 (F50)
- 入倉 則夫 (B47)

一般社団法人名古屋工業会会誌  
「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。